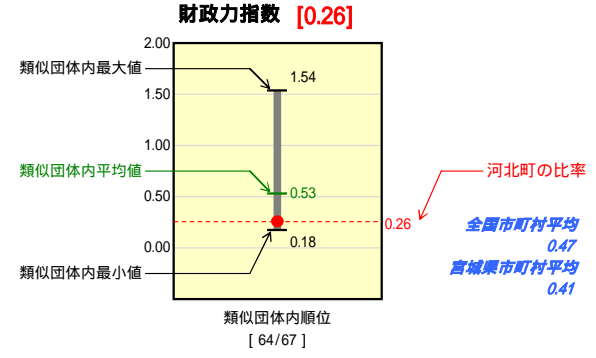


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

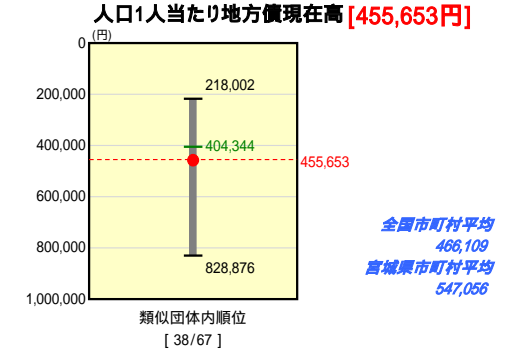
宮城県 河北町

人口	13,088人(H17.3.31現在)
面積	125.09 km ²
歳入総額	7,080,910千円
歳出総額	6,969,446千円
実質収支	111,464千円

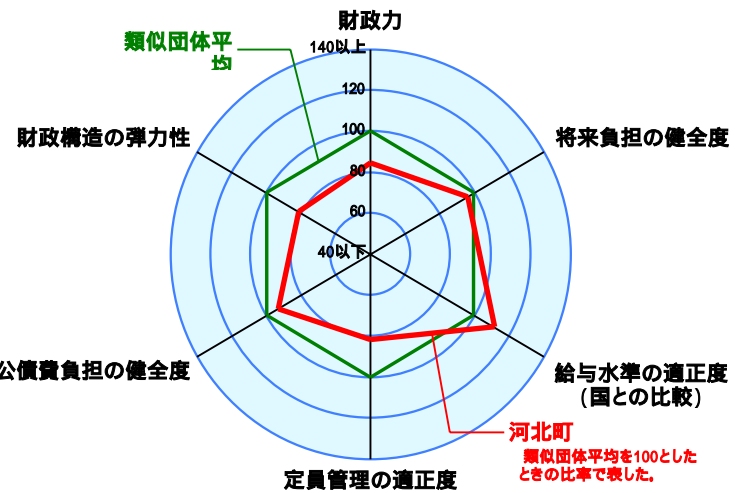
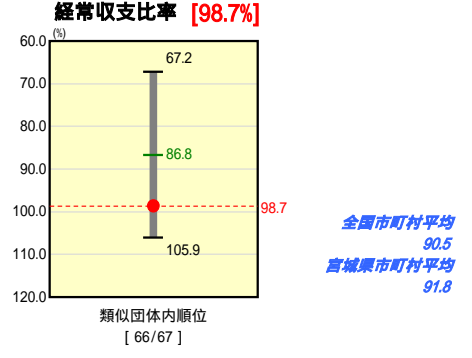
財政力



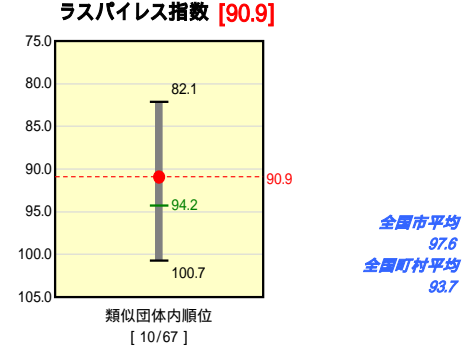
将来負担の健全度



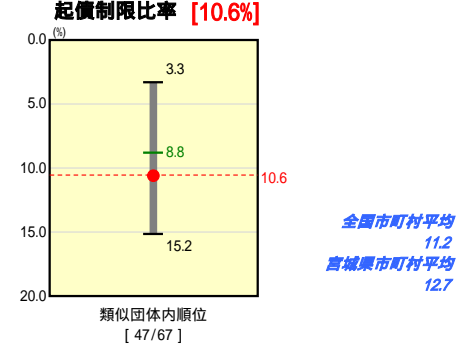
財政構造の弾力性



給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



分析欄

財政力指数
・ 農業が主産業で過疎地域指定されている本町では、企業や工場等も少なく、町税の徴収率は高いものの(94.4%)、財政力は従来より低く、例年どおりとなっている。

経常収支比率
・ 歳入において、地方交付税や臨時財政対策債等が前年対比6%減となったことと、市町合併に伴う打ち切り決算により、町税及び地方譲与税の収入未済が発生した。歳出においては、国庫支出金等の特定財源について収入未済となっているため一般財源が充当されたことによる。

起債制限比率
・ 平成6年度までに整備された総合センターや、これまでの積極的な事業展開により公債費の償還額は多いものの、償還のピークは過ぎており、平成16年度に整備された道の駅事業の償還を考慮しても今後は比率が低下していく予想である。

人口1人当たり地方債現在高
・ 大型事業の実施により現在は平均値を上回っているが、総合センターの償還が完了する3年後には平均水準になると思われる。

ラスパイレズ指数
・ 類似団体と比較しても低く、今後給与の適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数
・ 総合センター建設等積極的な事業展開により職員数が平均より上回っている。機構改革やITの活用、行政サービスの見直し等により、定員管理の適正化に努める。

定員管理の適正度

